

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
452	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名（原題／訳）</b>	
<p>Association of alcohol consumption with selected cardiovascular disease outcomes: a systematic review and meta-analysis.          選択された心血管病のアウトカムとアルコール消費量との関係：システマティック・レビューとメタ分析</p>	
<b>執筆者</b>	
Ronksley PE, Brien SE, Turner BJ, Mukamal KJ, Ghali WA.	
<b>掲載誌（番号又は発行年月日）</b>	
BMJ. 2011 Feb 22;342:d671. Review.	
<b>キーワード</b>	
アルコール消費量、心血管病、システマティック・レビュー、メタ分析	
<b>要 旨</b>	
<p><b>目的：</b>          複数の心血管病のアウトカムにおけるアルコール消費量を評価する研究を包括的なシステマティック・レビューとメタ分析で実施した。</p> <p><b>方法・研究デザイン：</b>          システマティック・レビューとメタ分析</p> <p><b>データソース：</b>          Medline（1950～2009年9月）と Embase（1980～2009年9月）により文献及び学会議事録を検索した。</p> <p><b>選択基準：</b>          アルコール消費量と心血管病の発生率や死亡率、冠動脈疾患との発生率と死亡率、脳卒中からの死亡率との関係に関する前向きコホート研究</p> <p><b>研究レビュー：</b>          データ抽出のために 4,235 の研究の適格性と質をレビューし、84 を最終的な分析に使用した。</p> <p><b>結果：</b>          非飲酒者に対する飲酒者のインタレストアウトカムのランダム効果を用いた調整リスクは、心血管病の死亡は（21 研究）0.75（95%信頼区間 0.70－0.80）、冠動脈疾患の発症率は（29 研究）0.71（0.66－0.77）、冠動脈疾患の死亡は（31 研究）0.75（0.68－0.81）、脳卒中の発症は（17 研究）0.98（0.91－1.06）、脳卒中の死亡は（10 研究）1.06（0.91－1.23）であった。用量反応分析では、1日に1－2杯の飲酒で生じた冠動脈疾患の死亡は、低いリスクであった。脳卒中の死亡は、1日に1杯以下で総死亡の二次的分析は、飲酒者は非飲酒者と比較して低いリスクであることを明らかにした（0.87（0.83－0.92））。</p> <p><b>結論：</b>          低中等量のアルコール消費量は、複数の心血管のアウトカムのリスクの低下と関連した。</p>	